

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

数字や 絵・しゃしんをつかっている ぶぶんを見つねが 読み、よさを考えよう。

（「しかけカードの作り方」の本文全文または一部を提示するか、板書します。）

〈ざいりようとうぶ〉

・画用紙 二まい(大・小 一まいずつ)

〈作り方〉

まず、・・・しゃしんのように切りこみを二本入れます。

切りこみの長さは、四センチメートル、切りこみと切りこ

みの間は、三センチメートルぐらいにします。

【長さや大きさ、おもさを表す言い方】

- ・つくえのたてくらの長さ
- ・小ゆびのつめくらの大きさ
- ・たまご一つ分くらのおもさ

【今日の学しゅうのまとめ】

- ・せつめいするときには、長さや大きさを数字をつかうとわかりやすい。
- ・文しゅうだけでなく、絵やしゃしんを見せるとわかりやすい。

【4 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート（「なるほどせつめいカード」書いてせつめいしよう）
本時のねらい

おもちゃの作り方の説明をするときは、数字や絵・写真を用いて説明すると分かりやすいということに気付かせる。

1 本時のめあてを確認する。

- 学級に掲示している学習計画で本時の学習を確認させる。

2 「しかけカードの作り方」の中から、数字を使って説明している部分を見付ける。

- 本文中から数字を使って詳しく説明している部分を見付けさせ、えんぴつで波線を引かせる。また、ワークシートにもその部分を書かせる。

3 数字や写真を用いて説明してある部分を全体で確認し、そのよさを確認する。

- ワークシートに書いた数字を使った説明の部分を発表させる。
- ※ 板書で、児童が発表した部分に波線を引いていきます。
- 写真を説明の補助として使っている部分を見付けさせる。
- ※ 文章のみで説明するのが難しい場合は、絵や写真を用いて説明すると分かりやすいということも確認します。
- 作業を説明するときには、数字や絵・写真を入れることで分かりやすくなることを伝える。

4 「しかけカードの作り方」で学んだ数字や絵・写真を用いた説明の工夫が「おもちゃの作り方」でも生かされているかを見付ける。

- 数字や絵・写真が用いられている部分に波線を引かせる。
- 数字の代わりに「つくえのよこの長さ」という表現があることに気付かせ、はっきり数字で表せない場合は、何かのものなどに例えて表現するとよいことを確認する。
- ※ 児童が持っている鉛筆や筆箱など、大きさがまちまちな物は、例えとしてふさわしいことを伝えしよう。また、大きさや重さなども何かに例えて表現することができることも伝えよう。

評価 ・数字や絵・写真を用いることよさに気付きながら読んでいる。 (読み)

・数量を表す色々な表現の仕方を理解している。 (言い(ウ))

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

- 数字や絵・写真を用いることで、分かりやすい説明になることを確認させる。
- 次時は、気を付けることや使い方が書かれている部分を読んでいくことを確認させる。